

# 調査・研修等計画届出書

令和 4年 10月 14日

瀬戸市議会議長 様

議員名 松原 大介

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

## 記

期 日	令和 4年 10月 19日から 10月 20日まで (1泊2日)	
調査先・研修名	第17回全国市議会議長会研究フォーラム	
会場名 (会場所在地)	ホクト文化ホール (長野県県民文化会館)	
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	第1部基調講演「コロナ後の地域経済」 第2部パネルディスカッション「地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性」 第3部課題討議「地方議会のデジタル化の取組報告」 を通じて、全国的な動きや傾向、先進事例を学ぶことで、本市議会との差異を知り、今後の議会活動の向上に繋げていく。	
議長名の依頼	要 <input checked="" type="radio"/> 不要	依頼先 (名称)
同行者名		

※行程表を添付してください。

# 調査・研修等報告書

令和 4年 10月 21日

瀬戸市議会議長 様

議員名 松原 大介

政務活動 として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和 4年 10月 19日から 10月 20日まで (1泊2日)
調査先・研修名	第 17 回全国市議会議長会研究フォーラム
会場名 (会場所在地)	ホクト文化ホール (長野県県民文化会館)
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	第 1 部基調講演「コロナ後の地域経済」 第 2 部パネルディスカッション「地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性」 第 3 部課題討議「地方議会のデジタル化の取組報告」 を通じて、全国的な動きや傾向、先進事例を学ぶことで、本市議会との差異を知り、今後の議会活動の向上に繋げていく。
調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等	
<p>■第 1 部基調講演「コロナ後の地域経済」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・コロナ禍におけるグローバル企業の脆弱性</li><li>・破壊的イノベーションの波の拡大</li><li>・ローカル経済圏の重要性</li><li>・みちのりホールディングスの地域公共交通の取組み</li><li>・「分ける化」「見える化」による地道な改善改良からのDX的解決</li><li>・バスロケーションシステム、AIを活用したダイナミックルーティング</li></ul> <p>■第 2 部パネルディスカッション「地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・上場企業の株主総会がバーチャル総会にシフト</li></ul>	

- ・有事と平時における議会の役割
- ・人口減への対応：圏域連携、公共私連携の条件としてのスマート自治体
- ・オンライン議会、セキュリティの確保
- ・委員会のオンライン開催

### ■第3部課題討議「地方議会のデジタル化の取組報告」

- ・取手市議会、可児市議会、西脇市議会
- ・公式な委員会をオンラインで開催
- ・360度カメラによるオンライン視察
- ・地方自治法により、本会議はオンラインで行えない
- ・委員会代表質問
- ・オンライン議会と語ろう会
- ・柏崎市デジタル予算書

調査先（主な質疑・応答内容） / 研修（受講後の感想）

### ■第1部基調講演「コロナ後の地域経済」

コロナ禍によって明らかになったグローバル企業の脆弱性や、ローカル経済圏の重要性を改めて認識することができた。講演者の富山氏が手掛けるみちのりグループのバス事業は、東日本の地域公共交通を支える民間企業であり、収益性を確保しながらできるサービスの幅、質を思い知ることとなり大いに興味を持つ内容だった。バスロケーションシステムやAIを活用したダイナミックルーティングなどが具体的なDX手法として紹介されたが、特に印象的だったのは、改善改良を行っていくプロセスであった。DX活用に至る動機付けはどれも自然なもので、例えばICカード導入の動機は、路線別収支が見える化したいため故の手法であったし、バスロケーションシステム導入の動機は、客の取りこぼしを最小化するためだった。いずれにせよ、普段の業務における現場から課題・問題点に地道に着目し、その改善のためにDXを活用する。最近の風潮として、DXをするために何をするかという、逆転現象が起きているのではという懸念を抱いていたので、講演を通じてよい気付きと納得を得られた。

### ■第2部パネルディスカッション「地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性」

2部は「議会」に着目してのデジタル化の話であった。国が示す方向性や、全国的な傾向を再確認できた。開催都市の長野市の例が挙げられたが、コロナ前までのデジタル化の取組みはむしろ瀬戸市のほうが進んでいる印象を持ったが、コロナ禍からの取組みの積極性は、長野市のほうが積極的であったと感じた。具体的には、市民と議会の意見交換会のオンラインでの開催や、委員会のオンライン開催への取組みなどであるが、ポイントは、DX自体を目的化しないことだと感じた。

■第3部課題討議「地方議会のデジタル化の取組報告」

三市議会から、地方議会のデジタル化の取組報告であった。

各市とも先進的な取組みをされておられたが、全国的な取組み状況データを見ると、本市もさほど遅れを取っている状況ではないということも確認できた。むしろ全国的には上位に入るのではという状況であり安心感を得た部分もある。

調査・研修の成果・考察

(瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等)

全国市議会議長会研究フォーラムには初めて参加したが、今回のテーマは「デジタルが開く地方議会の未来」であった。

個人的には馴染みやすいテーマであったが、安心できたことは本市は決して遅れをとっているわけではない。これからの議会の取組み次第では先進となることも可能であると感じたことだ。

ポイントとしては、DXやオンラインをやること自体を目的化しないこと。ある事象に対して、どのような課題・問題点があり、それを解決する方法にはこんな方法があり、そのなかでDX活用することでこんな解決に繋がる。ということではないと感じた。

そういう意味でいうと、議会におけるDX・オンライン活用は大きく2つの視点がある。

1つ目は、有事（災害時）においても、機能を持続できる議会であること。

2つ目は、市民や職員の利便性・効率性・公開性・透明性に寄与すること。

1つ目は、いわゆるBCPであり、近年民間企業で盛んになっている取組みである。行政においても当然必要であり、特に災害時における行政の役割も大きいことから積極的に進められている一方、議会におけるBCPは全国的にも進んでいない。議会のBCPという視点からのDXは必要だと感じている。

2つ目はやや抽象的だが、DXを進める上で大切な観点であると感じた。なぜやるのか、どんな効果があるのか、動機付けははっきりしているかは、しっかり見て

いく必要性がある。

最後にDXを進めるにあたって、必ず懸念となるセキュリティについて、面白い問い掛けがあった。

「ネット回線が切れたら？電源が落ちたら？セキュリティを気にするあまりDXが進んでいない現状がある。では、今この会場が停電して真っ暗になったら会議を続けられますか？

確かにセキュリティや環境は大事ですが、デジタルだけでなくアナログの世界でも同じようにリスクはあります。恐れずに進みましょう。」

本市においても恐れずに進んでいきたいと思えます。

# 行程表

乗り換え案内ジョルダン <http://www.jorudan.co.jp/>

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
4 年 10 月 19 日	瀬戸市	愛環	片道	高蔵寺	6.2	km	280	円	円
	高蔵寺	JR	片道	多治見	12.2	km	4,070	円	円
	多治見	JR	片道	長野	214.6	km		円	2,420 円
						km		円	円
						km		円	円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
ホテル やま					026-235-1634		5,900 円		
備考欄									

12,670 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
4 年 10 月 20 日	長野	JR	片道	多治見	214.6	km		円	2,950 円
	多治見	JR	片道	高蔵寺	12.2	km	4,070	円	円
	高蔵寺	愛環	片道	瀬戸市	6.2	km	280	円	円
						km		円	円
						km		円	円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									

小計 7,300 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
年 月 日						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									

パック等による割引など

小計 0 円

円

宿泊費 合計

5,900 円

交通費 合計

14,070 円

申請額合計  
(宿泊費+交通費-割引代)

19,970 円